

研修だより

No. 12

公開研において あと3週間!

指導案づくりお疲れ様でした! ブロックで話し合っただけで考えた指導案です。自信をもっていきましょう! あとは、
☆プレ研で子どもの反応を確かめる!

この際には、もっとヒントを与えた方がよいか、迷わせないほうがよいか、というネガティブな思考ではなく、より盛り上がるには? もっと楽しそうに学ぶには? とポジティブに検討することが大切です。

本間先生がまとめられたアンケート結果にもあるように、子どもたちは、私たちが不安に思う以上に、「学ぶ学習を楽しんでいる」ことがわかります。楽しんで主体的に学んだことは、誰かに無理やり教えられた何かより、心に残り、もっと「やってみたい」につながるはずです。

公開研当日は、やってみただけで習得させることができなかった…。こういうこともあるでしょう。習得は指導や繰り返しの学習が必要です。今年度の研修は、習得が目的ではありません。「やってみたい」が主なので、楽しい! もっと調べたい! やって見たらなんかわかった気がする! の取っ掛かりになれば十分です。

☆3週間でアイテムを蓄える!

中プロでは、公開研とは全く違う単元で、プレ研1本目を行いました。同じ流れで授業をしてみたら、どうなるのかを試しました。すると、「仮説の意味が落ちていないこと」「収束が難しかった→1時目は、仮説をバシッと決めるのではなく、根拠集めをした方が、思考の流れ的にすっきりすること」「①仮説→根拠の確認②根拠集め→仮説、どちらでもよいとしたことで、結果と疑問と仮説が混同したこと」「十分な時間を与えたことで子どもたちが生き生きと学んでいたこと」「個別・協働学習が自然と行われたこと」「支援の手が必要なこと(活動が遊びになってしまう)」などが見えました。実際に授業をしたことによる気づきです。

もし、可能であれば、ぜひ当日公開研で授業されない先生も試してみてください。授業を流してみないと気付かないことがあるかもしれません。

私のクラスでは、この3週間で、①仮説を立てられるようにする、②みんなの考えから共通点を見つける、の2点に絞り、力を付けたいと思っています。

学年やブロックで、あと3週間でどのようなアイテムを身に付けさせたいのか、意識して学習を進めてみてください。